

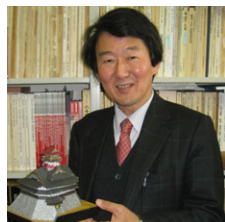
江戸城天守再建

今世紀最大の伝統的木造建築

講師：

三浦 正幸

広島大学名誉教授



(みうら・まさゆき)
広島大学名誉教授
NHK大河ドラマ「麒麟がくる」、「青天を衝け」、「鎌倉殿の13人」、「どうする家康」建築考証
日本伝統建築技術保存会（ユネスコ無形文化遺産登録団体）特別会員
NPO法人江戸城天守を再建する会特別顧問
文化財石垣保存技術協議会評議員
日本城郭協会評議員

1954年 名古屋生まれ／1977年 東京大学工学部建築学科卒業／広島大学工学部助手・助教授を経て、1999年に広島大学文学部教授／2018年 広島大学大学院文学研究科教授を定年退職／工学博士、一級建築士

専門は日本建築史・城郭史・文化財学。神社・寺院・城郭・茶室・民家の歴史や構造・意匠などを文科・理科の両分野から研究。多くの城郭のほか、備後国跡、等妙寺跡、原爆ドームなどの国史跡の整備委員等を歴任。

復元設計：史跡吉川元春館跡台所、史跡万徳院跡風呂屋、史跡河後森城馬屋、史跡岡山城本丸供腰掛、史跡諏訪原城北馬出門、岡崎城東櫓、浜松城天守門、高根城城門および井楼、西尾城二の丸丑寅櫓、籠津神社唐門および両部鳥居（広島市）

著書：『天守 芸術建築の本質と歴史』（吉川弘文館）、『図説近世城郭の作事 天守編』（原書房）、『図説近世城郭の作事 櫓・城門編』（原書房）、『城のつくり方図典』（小学館）、『城の鑑賞基礎知識』（至文堂）、『神社の本殿』（吉川弘文館）、『平清盛と宮島』（南々社）ほか多数

日時：2023年1月30日（月）14:00～15:30

会場：明治記念館 富士2の間（港区元赤坂2-2-23）

定員：100名（定員に達し次第締切）

協会会員・招待者・後援団体・学生：無料／左記以外：5,000円

要事前申し込み

※当協会の正会員は各支部の支部長を通じてお申し込み下さい。

建築CPD（1単位）認定予定

主催：

（一社）東京都建築士事務所協会

後援（予定）：

（一社）日本建築士事務所協会連合会

（一社）東京建築士会

（公社）日本建築家協会 関東甲信越支部

（一社）日本建築学会 関東支部

（一社）東京都設備設計事務所協会

（一社）東京構造設計事務所協会

（一社）日本建築積算事務所協会 関東支部

（一社）東京建設業協会



一般社団法人
東京都建築士事務所協会

Tokyo Association of Architectural Firms

〒160-0022 東京都新宿区新宿 5-17-17 渡菱ビル 3F

tel. 03-3203-2601 fax. 03-3203-2602

<https://www.taaf.or.jp/> jimui@taaf.or.jp

新型コロナウイルス感染症の蔓延や国際情勢により、国内のさまざまな問題が顕在化してきました。そのひとつ、建築用木材の供給が需要に追いつかない「ウッドショック」に、建築業界は大きな打撃を受けています。国も急遽国産材への転換を図り、影響緩和に乗り出しましたが、情勢が落ち着けばまた元通りの海外依存に戻ってしまうことが懸念されます。この事態を機に、国内の供給を安定させるためのさまざまな努力はもとより、大きなきっかけを探し出すことが必要であると考えます。

新たな年の幕開けに際し「江戸城天守再建」という華やかで夢のある話の中に、「荒れている森林の再生」、「美しい国産材の海外へのPR」につながる“木造による再建”の重要性を、広島大学名誉教授の三浦正幸先生にお話しいただきます。

世界に誇れる日本の伝統や文化の象徴である城郭建築について見識を深めるとともに、国産材供給の安定化に向かう手掛かりを見出しただけのことを期待します。（主催者）

